

桑野塾+



桑野塾

検索

<http://deracine.fool.jp/kuwanojuku/>

大学などの研究者に限らず、興味を持って研究していることを自由に発表しあう「広場」です。
どなたでもご参加いただけます。
それぞれの興味が少しずつ重なり合うことで、新たな知見を見いだそうという場です。

第80回

2024年
7月13日(土)
15:00 ~ 18:00

早稲田大学 戸山キャンパス 36号館 581号室

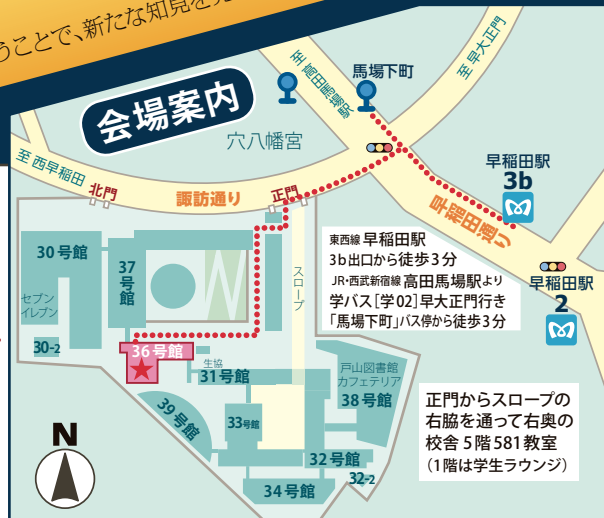
★ どなたでもご参加いただけます。会場に直接お越しください。開場は14:30。

☆ 終了後、近くの居酒屋で懇親会を開催します。(要申込み・飲食費は別途)

※予約の都合上、懇親会参加をご希望の方は7月10日(水)までにメールでお申込みください。

※報告者・タイトルは変更の可能性もあります。ご了承ください。

参加無料



共催：サーカス学会 <https://societyforthestudyofcircus.org/>

みちのくの曲馬師 - 石川清馬と松村太郎の足跡をたどる

報告者：大島 幹雄



石川清馬の家に残る馬術の絵巻

明治時代歌舞伎役者の協力も得ながら、独自の馬芝居をつかった石川清馬は、東京芝にある愛宕神社の階段を馬で駆けあがりさらに下りも成功させ、一躍名声を得る。宮城県気仙沼にある生家を訪ね、石川清馬が残した、馬術書や馬具、書簡などの資料を調査、地元の郷土史家からの取材を通じ、石川清馬の足跡を明らかにします。

さらに清馬の一番弟子ながら、古い馬芝居に飽き足らず、新しい馬のショーをつくり、師匠と対立、破門された松村太郎が晩年に故郷岩手県田頭村に建てた実家も訪れ、地元に残る資料をもとに、いままで謎に包まれていた松村太郎の足跡も追いかけます。

みちのくから生まれた明治の曲馬師ふたりの故郷や遠野を訪ね、そこに残るちいさな手がかりをもとに、明治の曲馬の実体に迫ります。



松村太郎が
岩手県田頭村に建てた家

●大島 幹雄(おおしま みきお)

サーカス学会会長。

著書に『サーカスと革命』(水声社)、

『明治のサーカス芸人はなぜロシアに消えたのか』(祥伝社)、

『サーカス学誕生』(せりか書房)など。

●問合せ・懇親会申込み：大島幹雄(おおしま・みきお) E-mail : izj00257@nifty.com 懇親会申込み×切：7月10日(水)